

令和6年度第2回運営推進会議 議事録

事業所名（種別）	大泉学園さくらの家		
所在地	練馬区大泉学園町7-19-17		
開催日時	令和 6年 6月22日 土曜日 14:30~15:30		
開催場所	ケアヴィレッジ こぶしの家 101号室		
出席者内訳	利用者	0名	
	利用者家族	2名	
	民生委員・町会役員・地域代表	1名	
	知見者	1名	
	練馬区・地域包括支援センター職員	0名	
	事業所職員	2名	さくらの家管理者 やまぼうし管理者
	その他	0名	
議題 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	さくらの家のご報告		
報告内容 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	<p>さくらの家のご報告です。</p> <p>利用者さんの状況ですが、要介護1の方が3人と、要介護2の方が8人、3の方が3人、4と5の方がそれぞれ一人ずついらっしゃいまして、現在16人入所されている状況です。職員状況ですが、常勤職員が13人とパートさんが6人、派遣さんが2人いらっしゃいまして、計21人となっています。</p> <p>5月と6月に行った行事ですが、5月12日の母の日にカーネーションを購入して皆さんとお写真撮ったりですとか、あと5月25日と6月20日にお誕生日の方がいらっしゃいましたので、それぞれケーキとプレゼントを買ってお誕生日会を行っております。6月に遠足を行う予定でしたが、車の手配ができずに7月に延期しております。</p> <p>研修報告ですが、5月に虐待防止研修に私が参加しまして、それに関する伝達講習を施設内のケア会議で行っています。あとこれから暖かくなる時期ですので食中毒や感染症に関する研修も施設内で行っております。</p> <p>次は事故の報告をさせていただきます。先月と今月に発生しました事故ですと、転倒事例として入居者さんが朝6時頃、居室内の床にて転んでいるところを発見するというものがありました。特に外傷や痛みが残ることはありませんでした。あと先月は外傷事例が続いております、皮膚が脆弱な方がお一人いらっしゃいまして、日常生活動作が全介助の方なのですが、その方について内出血の報告が3件あがっております。車椅子を使っておりますが、車いすに移る際に足がぶつかることが多いことが考えられましたので、車いすのフットレストに荷物の梱包に使う緩衝材を巻いて保護するという対策を行いました。次の方はADL自立の方なのですが、朝起きた時にほほに傷があると本人より報告を受けまして、出血はなかったのですがベッドの環境を改めて確認したらメガネが枕元に置いておりました寝返りを打った際にそれが当たったのではないかと考えられた事例がありました。あとは</p>		

	<p>職員が利用者の爪を切った際に皮膚を切ってしまった事例と、もう一つは一人で歩いている利用者の方なのですが、気が付いたら右足首に内出血があった事例がありました。これは本人に尋ねてもどこでぶつけたか分からない、職員も転倒した場面を目撃していないので、これについては原因が不明ですが、こちらは経過観察を行っております。次に薬剤に関しては便が出たのに記録を忘れて便秘扱いになり下剤を内服する事故がありました。あと、在宅酸素療法を使っていらっしゃる方ですが、その方の酸素濃縮器という機械があるのですがその電源が入っていなかったという事故がありました。事故に関しては以上です。</p> <p>その下、ヒヤリハットについてです。誤嚥をしたわけではないですが、昼食に出たクロワッサンを利用者さんがその場では食べきらず居室のベッド上で食べていたというのがありました。あと食事中、箸の先端が折れて無くなっているのを発見したものが1件ありまして、こちらはごみ箱の中身を改めたりしたのですが見つかっておらず、ご本人の口腔内が傷ついていないことや腹痛の症状がないことを確認したうえで経過観察を行っております。これに関しては今まで木の箸を使っていたのですが、金属の箸に変更することで対策しております。次に異食ですが、視力低下のある方が花の生けているコップの水を飲もうとしたところを発見して未然に防いだというのがあります。あと、補聴器が紙に包まれてごみ箱に捨てられていたものを発見したものが1件と、ベランダに出る窓が施錠されていないということも職員が発見したものが1件ありました。ヒヤリハットに関しては以上です。</p>
出席者からの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間職員が一人になるなかで、良いケアをしていらっしゃると思う。 ・母からも「職員さんが良くしてくれる」と聞いている。ありがたい。 ・「夜中も起きたら来てくれるのよ」と義母から聞いている。家で看ることは難しかったと思うのでありがたい。写真を見るとゲームも楽しんでいるようで良かった。
要望、意見および助言と事業所の回答	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子にぶつかったことが疑われる内出血について、フットレストが開くタイプの車椅子を使用するという対策は取らないのか。 →施設内で使う車椅子をレンタルする場合は業者が選んだものを使っている現状であり、任意のものを使おうとする場合は実費での購入となる。ご家族の金銭的な負担もあり、安価に行える対策を講じている。 ・箸の先端が折れた事例について、金属の箸に変えたことにより利用者の歯が傷つくリスクは無いのか。 →木の箸が折れたという事例が当該利用者で2件今までに起こったため金属の箸に変えるという対策をとったが、その利用者が明らかに強い力で箸を噛んでいる様子がみられるわけではない。 ・コロナが増えてきているがそちらではコロナの感染者は出ていないか。 →利用者に関しては1年以上出ていない。職員に最後に出たのが4月頃であるが、法人内のマニュアルに従い出勤の可否を判断して対策を行っている。 ・さくらの家とやまぼうしでは入所の基準（主に要介護度）が違うのか。 →さくらの家でも基本的には看取りまで行うことになっているが、身体的な介助量が多い方は受け入れるのが難しい。また、やまぼうしは認知症の診断がなくても利用することができる。やまぼうしは主に自宅に住んでいる方が利用し、自宅一人で暮らすことが難しい方がさくらの家に入所することになる。
その他	
次回の開催予定	<p>日時：令和 6年 8月24日 土曜日 14：30～ 15：30 場所：ケアヴィレッジ こぶしの家101号室</p>